

第2回横浜市永田みなみ台公園こどもログハウス指定管理者選定委員会会議録	
日 時	令和8年8月7日（金）14時00分～16時00分
開催場所	南区役所1階多目的ホール
出席者	佐々委員長、小田島委員、沖野委員、百岳委員、味知委員
欠席者	なし
開催形態	非公開
議 題	横浜市永田みなみ台公園こどもログハウスの次期指定管理者の選定について
決定事項	横浜市永田みなみ台公園こどもログハウスの次期指定管理者の候補者を「特定非営利活動法人みなみ区民利用施設協会」に決定した。
議 事	1 選定委員会の進め方について確認 （事務局）提案団体の提案説明及び質疑応答と審議の非公開について説明 2 応募団体について （小田島委員）応募団体1者の財務状況について説明。直近3年間の財務諸表等の確認により、応募団体の財務状況に大きな問題がないことを共有。 （事務局）応募団体について、市税の納付状況について滞納がないこと及び暴力団または暴力団経営支配下法人にも該当しない団体であることを報告。 3 面接審査 （1）横浜市永田みなみ台公園こどもログハウス ア 提案説明 応募団体より、応募書類の内容に沿って提案内容を説明。 イ 主な質疑応答 <委員> ログハウスの利用状況は？ <団体> 小学生の利用が中心。1日100人程度の利用がある。 <委員> スタッフの要望等に応える場はあるのか？ <団体> 月1回スタッフミーティングを実施して、話を聞いている。 <委員> 常時2名体制でのスタッフ配置はきついていると考えている。提案書に地域のボランティアにも依頼・協力したいと思っていると記載されているが現時点で地域の方たちとつながりがあって、実現可能なかどうか教えてほしい。 <団体> 当団体理事をしている地元自治会の会長等、長年施設に関わっていただいていた方に相談しているところである。 <委員> 乳幼児が安心して遊べるように見守りや声かけをしてほしい。実際に施設を使用している団体が意見交換をできる場所を作ってもらいたい。あと、地域と連携した防災訓練はされているのか。 <団体> スタッフによる声かけについては、特に2階を走る子などには、声をかけるようにしているが、さらに改善していく。施設利用者との意見交換については、大きなイベントを開催した時やお手伝いで施設に来ていただいた際に、ご意見を聞くような形で対応している。また、防災訓練については、地域防災拠点とのつながりをつ

	くることや、地域の防災訓練に参加するなどを検討していく。 ウ 総評 ・ 現状維持で手一杯という印象を受けた。 ・ 全体的に標準だと思った。 ・ 職員の配置や育成については、提案資料では研修を受講すると記載されているが、実際にどのような研修を受けて、能力をどう向上させたのか等、研修の内容がどのように施設運営に反映されているのか資料を見ただけでは読み取れない。また、地域のボランティアの導入については、昨今頻発している児童に対する犯罪等の防止の観点から慎重に考えるべき。 ・ 資料に記載の管理料の中でよくやっていると思う。 ・ 収益がない中でやれることには限界があると思う。その中でもよくやっていると思う。 ・ 今後発生が想定される大型地震への対策を市と団体で連携して対策を検討していったほしい。 4 審査結果 (1) 横浜市永田みなみ台公園こどもログハウス 委員 5 名の合計評価点360点により、指定候補者を「特定非営利活動法人みなみ区民利用施設協会」に決定。 5 その他 選定結果は区長に報告。議事録は委員長と調整し作成のうえ、ホームページに掲載。12月市会に上程し、議案可決後、正式に決定。
資 料 ・ 特記事項	1 資料 (1) 提案資料 (2) 評点集計表 2 特記事項 なし